

操作項目	実施箇所・必要人員数			操作内容	経過時間 (分)						経過時間 (時間)																
	責任者	当直長	1人		10	20	30	40	50	60	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
操作項目	責任者	当直長	1人	中央制御室監視 緊急時対策本部連絡	事象発生 原子炉スクラム ▽ プラント状況判断 ▽ 10分 常設代替交流電源設備による給電 ▽ 約1時間 原子炉水位燃料棒有効長底部 (BAF) + 20%到達 非常用ガス処理系 運転開始 ▽ 約1.1時間 炉心損傷 ▽ 約2時間 中央制御室換気系 運転開始 ▽ 約3.1時間 原子炉压力容器下鏡温度300℃ (溶融炉心の炉心下部プレナムへの移行確認) ▽ 約5.4時間 原子炉压力容器破損 ▽ 10時間 残留熱代替 除去系 運転開始																						
操作項目	指揮者	当直副長	1人	運転操作指揮																							
操作項目	通報連絡者	緊急時対策 本部要員	5人	初動での指揮 中央制御室連絡 発電所外部連絡																							
操作項目	運転員 (中央制御室)	運転員 (現場)	緊急時対策要員 (現場)																								
格納容器代替スプレイ系 (可搬型) 準備操作	—	—	②, ③, ⑥ 14人 a~n	・放射線防護具準備/装備	10分																						
格納容器代替スプレイ系 (可搬型) 系統構成	(1人) A	—	—	・大量送水車による格納容器代替スプレイ系 (可搬型) 準備/系統構成 (大量送水車配置, ホース展張・接続)	2時間10分 (実績2時間5分)																						
格納容器代替スプレイ系 (可搬型) 原子炉格納容器下部注水操作	—	—	(2人) a, b	・原子炉压力容器破損前の初期注水	ベデスタル水位2.4m (注水量約225m <sup>3</sup> ) 到達後停止	10分																					
ベデスタル代替注水系 (可搬型) 系統構成	(1人) A	—	—	・ベデスタル代替注水系 (可搬型) 系統構成	10分																						
ベデスタル代替注水系 (可搬型) 注水操作	—	—	(2人) a, b	・原子炉压力容器破損後の原子炉格納容器下部注水	原子炉格納容器下部に崩壊熱相当に 余裕を見た流量で注水																						
ベデスタル代替注水系 (可搬型) 停止操作	(1人) A	—	②, ③	・ベデスタル代替注水系 (可搬型) 停止																							
原子炉補機代替冷却系準備操作	—	—	(12人) a~l	・資機材配置及びホース敷設, 系統水張り, 起動	7時間20分 (実績7時間10分)																						
原子炉補機代替冷却系準備操作	—	—	⑤ 3人 o, p, q	・放射線防護具準備/装備	10分																						
原子炉補機代替冷却系準備操作	—	—	—	・電源ケーブル接続	1時間40分																						
原子炉補機代替冷却系準備操作	—	(2人) B, C	—	・原子炉補機代替冷却系 系統構成	1時間40分																						
原子炉補機代替冷却系運転	—	—	(2人) c, d	・原子炉補機代替冷却系 運転状態監視	適宜実施																						
原子炉補機代替冷却系運転	(1人) A	—	—	・原子炉補機代替冷却系 冷却水流量調整	10分																						
燃料補給準備	—	—	④ 2人 r, s	・放射線防護具準備/装備	10分																						
燃料補給準備	—	—	—	・非常用ディーゼル発電機燃料貯蔵タンク等からタンクローリへの補給	2時間30分																						
燃料補給作業	—	—	—	・大量送水車, 大型送水ポンプ車への補給	適宜実施																						
可搬式窒素供給装置による原子炉格納容器内窒素供給準備	—	—	③ (2人) e, f	・可搬式窒素供給装置準備	2時間 (実績51分)																						
可搬式窒素供給装置による原子炉格納容器内窒素供給	—	—	—	・可搬式窒素供給装置起動																							
原子炉ウェル代替注水系 注水操作	—	—	(2人) a, b	・大量送水車による原子炉ウェルへの注水																							
必要人員数 合計	1人 A	4人 B, C, D, E	19人 a~s																								

( ) 内の数字は他の作業終了後, 移動して対応する人員数。

丸数字及び枠囲み (色付) は, 第1図の緊急時対策要員 (現場) の各要員を示す。  
 黄色ハッチング部は, 第1表の操作項目のうち, 同一要員にて実施する作業項目を示す。  
 有効性評価において, 火災の想定はないため, 自衛消防隊は登場しない。

第3図 「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」の操作内容と所要時間